



文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
関西大学国際文化財・文化研究センター(CHC)



エジプト学研究セミナー

エジプト学研究の第一線でご活躍されている日本のエジプト学研究者をお招きし、
古代エジプトの各時代にテーマを絞った研究を講演して頂きます。

本格的なエジプト学研究の入り口となるような内容の講義となりますので、
古代エジプトの歴史や文化に強い関心をお持ちの方は、奮ってご参加ください。



日時：平成28年 7月31日 (日)

場所：国際文化財・文化研究センター 実験・講習室
(関西大学総合研究室棟 2階)

※参加費無料

<申込方法>

電子メールで件名を「エジプト学研究セミナー」とし、

①氏名(ふりがな) ②連絡先電話番号 ③年齢 をご明記のうえ、下記メールアドレスまでお送りください。

※ 7月24日(日)締切 (定員に達し次第、締め切らせていただく場合がございます)

<申込先>

関西大学国際文化財・文化研究センター
メールアドレス：chc-jim@ml.kandai.jp

〒564-8680

大阪府吹田市山手町3-3-35

関西大学 総合研究室棟2階

国際文化財・文化研究センター

Tel: 06-6368-1456 Fax: 06-6368-1457

URL: www.kansai-u.ac.jp/chc/ Twitter: @CHC_KU

Facebook: <https://www.facebook.com/Egypt.Kansai.University>



【講演プログラム】

10:30~10:40	開会のあいさつ
10:40~11:40	「王墓にみるエジプト初期国家の王権」・・・・・・・・中野 智章
11:40~13:00	休憩
13:00~14:00	「古王国第5王朝最後の王、ウニスの時代」・・・・・・・・吹田 浩
14:15~15:15	「トゥトアंकアメン（ツタンカーメン）王時代のエジプト」 ・・・・・・・・河合 望
15:30~16:30	「リビア王朝時代（第22王朝―第24王朝）の支配体制と墓制」 ・・・・・・・・藤井 信之
16:30~16:40	閉会のあいさつ

【講演者紹介】

【中野 智章】

中部大学国際関係学部教授。南山大学で考古学、オックスフォード大学でエジプト学を学ぶ。博士(文学)(南山大学)。エジプトの国家形成期を主な研究対象とするほか、グレコ・ローマン時代に建造されたハルガ・オアシスのアル・ザヤーン神殿調査等に参加している。

【吹田 浩】

関西大学国際文化財・文化研究センター長、関西大学文学部教授。エジプト学を専門とし、古代エジプト史を主に文化史、宗教史の立場から研究している。2003年度からはエジプトの文化財の保存修復ミッションも主導し、2013年度に同センターを設立。現在、国内外の研究者と共同で、国際的な文化財保存の研究に取り組んでいる。

【河合 望】

金沢大学国際文化資源学研究センター客員准教授、早稲田大学高等研究所招聘研究員。早稲田大学大学院文学研究科博士課程満期退学。ジョンズ・ホプキンス大学大学院博士課程修了(Ph.D)。エジプト学を専門とし、特に新王国時代の歴史と考古学を研究。また、長年にわたりエジプト現地の発掘調査に従事している。

【藤井 信之】

関西大学国際文化財・文化研究センター非常勤研究員。関西学院大学大学院博士課程後期課程単位取得退学、博士(歴史学)(関西学院大学)。エジプト学を専門とし、特にエジプトの第3中間期や後期王朝時代の歴史研究を進めている。